

強化審判員の皆さんよ!!

～今回はG4、G5グループの皆さんです～
※それぞれのカテゴリーは8月末現在

私たちは、2級強化審判員をG1～G8までの8つのグループに分けた中のG4～G5というグループに所属し、様々な指導・助言をいただきながら県内及び県外で活動をさせていただいています。将来の関東協会強化審判員候補として1級審判員を目指すメンバーも含まれています。県内のゲームで主審を担当しながら、今後関東の試合を担当する実力を備えているかを見極められる、いわば登竜門のカテゴリーです。

学生から社会人と幅広いので、互いに悩みを共有しながら切磋琢磨するカテゴリーです。今回、このレフェリーニュースで私たちの活動報告等について書かせていただく事になりましたので、G4～G5という登竜門で荒波に揉まれているメンバーから、普段の活動での難しさや楽しさを少しですが紹介させていただきます。

水間健太



永島淳平



柳澤健太



1. 審判キャリア / これまでを振り返って / 抱負

☆水間健太(みずけん)

私は某県内公立学校の教員なのですが、サッカー部の顧問となった25歳で審判の資格が必要なため4級を取得しました。そこで2級や3級の先輩や保護者の方がいて、徐々に興味を持ち始め、26歳で3級になり、八幡球技場でのレフェリースクールに参加してみました。中間さん、堀川さん、野崎さん、新田さん、洲上くん、松田くんにお会いしたのを覚えています。その後、28歳で2級となり、現在31歳です。残された期間は短いですが、吸収力を強みにさらに上に行けるように頑張っています。

☆永島淳平(じゅんぺー)

4級の資格取得から4年間あっという間に時間が過ぎ去っていったと思います。その間、数多くの試合や大会を経験することができました。そして多くの審判仲間に出会うことができました。選手として見る事ができなかった景色を審判として今は見る事ができていると思います。様々な方々に支えられながらこれまでやってこれました。今後も謙虚に、ひたむきに努力を続けていきたい思います。

☆柳澤健太(やなぎ)

私は14歳の時に父親の勧めもあり4級審判員の資格を取りました。その後、プレーヤーとの両立や、県協会の変更などがあり時間がかかりましたが、17歳で3級、25歳で2級を取得しました。年齢が上がってきましたが、上級を目指して頑張っていきます。

☆小倉敬右(おぐ)

千葉県在住の小倉です。審判活動は今年で4シーズン目になります。仕事をしながら、学校に通いながらだとトレーニング時間の確保が難しいとお悩みの方もいると思います。私自身は今シーズンから学生時代の「朝練」を思い出す感じで、仕事前に職場近くのジムでトレーニングする時間を作るようにして、夜型→朝型に変えてみました。

☆友成圭太(ともなり)

社会人になり、日々のトレーニングに時間を割く工夫が必要になったと感じています。職場の理解を得る方法やトレーニングの工夫等も楽しんでやることで審判活動自体もより楽しく感じています！

将来は新国立競技場で開催される全国高校サッカー選手権で、主審としてピッチに立ちたいです。



小倉 敬右

友成 圭太



平野 裕大



中島 智広

竹中 健太



☆平野裕大(ゆうた)

学生の頃から活動していますが、学生の頃と異なり、仕事との両立が難しいと感じています。特に、トレーニングやリハビリなどの調整、ケガへの対策など、審判技術以外の部分に苦慮しています。

限られた時間の中でどれだけ良いパフォーマンスに繋がられるかを日々考えさせられています。

自分が置かれた環境にいかにもうまく適応し、自分に合ったやり方を見つけ実践することがいいパフォーマンスに繋がると信じ、日々考えて行動することを心がけています。

☆中島智広(なかし)

審判活動をしていると、日頃の生活ではなかなか経験できないようなことを経験できることが醍醐味だと思っています。審判との両立がとても難しい仕事をしていますが、これからもサッカー仲間を大切に楽しく活動していきたいと思っています。

☆久保田海斗(かいと)

G5というカテゴリに入り担当する試合もより一層難しくなってきました。

私はまだ学生の子で来年就活がありますので審判と両立させ、怪我することなく次年度以降も強化に入れるよう、成長していきたいと思っています。みなさま、ご指導よろしくお願ひ致します。

2. 参加させていただいた研修会 / 関東レフェリーアカデミーについて(大まかに)

☆みずけん(ミニ国体 8月10日~12日 in 群馬)

<担当試合>

8/10・・・プラクティカルトレーニング、競技規則テスト、全体講話

8/11・・・少年群馬県 VS 少年埼玉県 ※副審

8/12・・・少年埼玉県 VS 少年茨城県 ※副審

<他の審判員・インストラクターから学んだこと>

- ・覚悟を持って1試合1試合に臨み、そのための準備をすること。
- ・「誰のためのレフェリングか」を履き違えないこと。
- ・「何のために」動きとポジショニングが重要であるのかを履き違えないこと。
- ・自分の強みを伸ばすこと
- ・審判だけでなく仕事や家庭も含めてマネジメントすること。
- ・「人として」の部分を大事にすること

☆やなぎ(萑崎フェスティバル 7月15日~17日 in 山梨)

<担当試合>

7/15・・・東京朝鮮 VS 丸岡 ※主審

7/16・・・清水東 VS 阪南大 ※副審2

7/17・・・正智深谷 VS 暁星 ※副審1、正智深谷 VS 中京 ※副審1



久保田 海斗



<他の審判員・インストラクターから学んだこと>

- ・羽石氏(インストラクター)講話の「主審の動き出しとポジショニング」で、攻撃側FWの動き出しの情報をいかに早く入手できるか、が非常に重要になることが分かりました。
- ・上荒氏(インストラクター)講話にて、類似した映像を2つ挙げられ片方はファール、もう片方はノーファールの判定でした。かなり類似した距離感・角度でプレーを見ているはずなのに判定が違うのは、主審が「この種類の反則が起きる」という予測が出来ているかどうか。良いポジションを取っても予期予測が抜けていると判定できないことが痛感できる内容でした。

☆じゅんぺー(関東レフェリーアカデミー 通年)

今年の4月から全国9地域に25歳までに国際舞台で活躍できる1級審判員を育成することを目的として設立された地域レフェリーアカデミーに参加しています。現在の関東レフェリーアカデミー1期生は5名の20歳~24歳の審判員が活動しています。(千葉1名、神奈川1名、茨城1名、東京2名、男性4名女性1名)活動日は毎月第2土日となっており、土曜日はJFAハウスで競技規則の解釈、判定の精度を高めるための研修のほかスポーツ医学や栄養学、サッカー自体や審判員の歴史、トレーニング理論など専門家を招くなどして様々な研修を行っています。日曜日はグラウンドでの実技研修のほか、日本赤十字社が実施しています初期緊急法の講習を受講したり、地域インストラクタートレセンとの連携を図るなど様々な活動を今まで行ってきました。また、年2回の合宿による集中研修を予定しています。(8月は千葉市ユース選手権に参加させていただきました)

それ以外の場では、日頃の割当をアカデミースタッフに見ていただいてフィードバックをいただいています。2年という活動期間の中で、1級受験をそれぞれが目指して切磋琢磨しています。多くの方々に支えられていることを全員が自覚していますが、1級受験は難しいチャレンジではありますが、全員が1級受験の機会を保證されているわけではありません。そこはシビアな選考がなされますが、全員が前向きにアカデミーの活動に取り組んでいます。アカデミーでの活動を少しでも千葉県に還元できるように考えていますので、審判関係者の皆様今後ともよろしくお願いたします。

3. 審判仲間の皆さんへ

☆みずけん

いろんな立場で審判活動に臨まれていると思いますが、1試合1試合が大事で基本的なやるべきことは変わらないと思います。現場で一緒できることを楽しみにしております。これからもよろしくお願致します。

PS. 何度か言わせていただいています、「健太」の皆さん、いつか「主審・副審1・副審2・第4の審判員・追加副審1・追加副審2」でできたらと思います。割当担当の方々よろしくお願いたします(笑)



☆じゅんぺー

僕も含め、20歳前後の皆さんは向こう20年ほど千葉県のサッカーを支えていく立場にあると思います。大変なこともたくさんあると思いますが、支えあい、競いあって1つでも上のステージに立てるように頑張っていきましょう。僕も皆さんに負けないように頑張ります！

☆やなぎ

今シーズンも残すところ半分を切りました。暑い時期も終わり各リーグの重要な試合が増えてくるかと思えます。ベストな試合になるよう努力しますので、よろしくお願いたします！また、アドバイス頂けますようお願いたします！

☆おぐ

今後とも皆さんと切磋琢磨し、10年後、20年後もレベルの高いフットボールと関われるように頑張っていきたいと思えますので、よろしくお願致します！

